

八岐之大蛇の逆襲（1985）

メディア 映画
ジャンル 特撮
製作国 日本
色彩 Color
時間 77分
初公開日 1985/12/15

【解説】

「大山の山頂に我を収めよ」、発掘された謎の石版のメッセージに従い、大学教授の田子と考古学者の祥子は石版を岩山に嵌め込んだ。すると石版から電光が放射、祥子は岩山に潜む破壊ロボット・ヤマタノオロチの中にテレポートしてしまう。祥子は、2000年以上も前に地球に来訪したインベーダーによって手足の動きをヤマタノオロチに直結させられ、知らぬまま街を破壊していく。地球侵略テーマのパロディ作品で、ヤケに気の長いインベーダー、アブナイ自衛官などコミカルな要素が多いが、精緻なミニチュアやアングルに凝った映像など特撮の面も見応え充分。大阪で行われたSFファンによるコンベンション・DAICONで上映され、後にエモーション・レーベルからソフト発売された。

【クレジット】

監督 赤井孝美
製作 澤村武伺
企画 赤井孝美
脚本 伊藤愛子
赤井孝美
特撮 樋口真嗣
音楽 中村暢之
出演 高橋香具美 桐原祥子
永山竜叶 田子俊作
米良健一郎 吉川戦車隊長
武田康廣 毛利大佐